

ー いの町における
デジタル技術を活用した実
証事業

にこ淵駐車場満空
状況確認システム



にこ淵渋滞解消デジタル整備協議会

(いの町、いの町観光協会、高知県、NTTコミュニケーションズ、四国情報管理センター)

連絡先：いの町 吾北総合支所 産業課

TEL：088-867-2313

メール：ghk-sangyou@town.ino.lg.jp

課題

にご淵は、自家用車等で来場する方がほとんどであるが、山間部にあるため、大規模な駐車スペースの整備が難しく、連休には、常に渋滞している状況である。

そのため大型連休等は、警備員(4-6名)を配置し、交通整理にあたっているが、駐車スペースが点在しているため、警備員が駐車場や駐車スペースの状況を確認することができず、スムーズな案内ができていない状況である。



課題解決方法

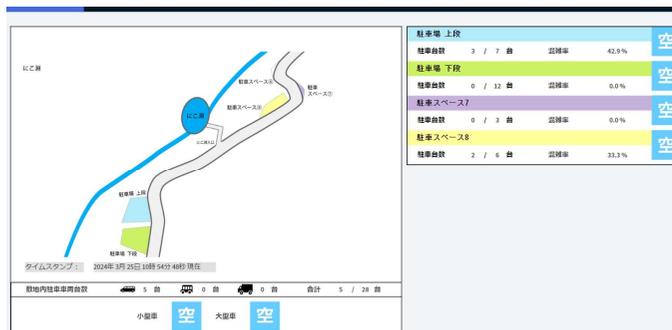
にこ淵駐車場およびにこ淵至近の
駐車スペースにAIカメラを設置。

利用方法①

警備員が通常視認しづらい駐車場や
駐車スペースの状況をリアルタイム
確認することで来訪者のスムーズな
誘導を実施。

利用方法②

また、満空状況を蓄積することで、
連休などの最適な警備員人数の検討に利用。



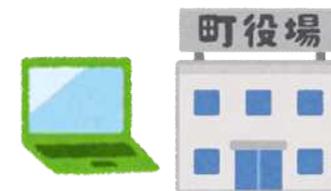
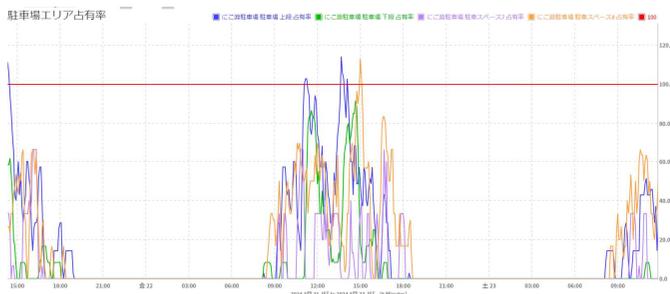
カメラ1: 2024/3/25 10:55:27



カメラ2: 2024/3/25 10:55:27



警備員
駐車場状況を
確認し、誘導

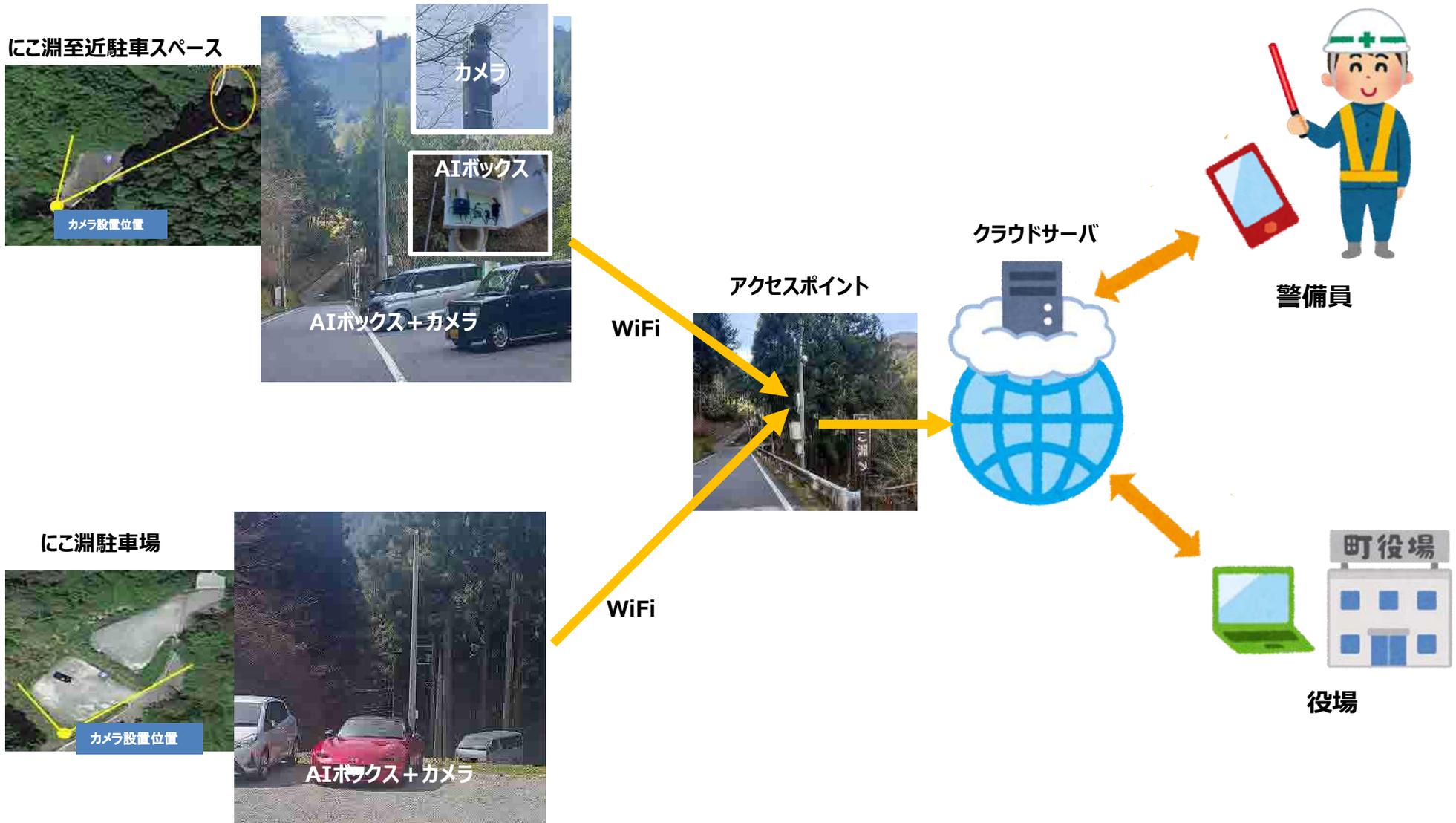


役場職員
駐車場の利用
状況を確認し、
警備員人数を検討

導入システム

にご淵駐車場およびにご淵至近の駐車スペースにカメラと、カメラの画像を解析するAIボックスを設置。

カメラで撮影した画像をAIボックスで画像認識し、台数をクラウドサーバに送信することで、満空情報を確認できる。



画面説明

・満空表示画面

各エリアでの駐車マスに止まっている車両の合計および混雑率を表示



・最新状況表示画面

現在のカメラ画像が確認できる画面（静止画）



※上記の他、過去の満空計測情報を見ることができる画面あり。CSV出力にも対応。

・利用状況画面

エリア毎の混雑率の時間遷移をグラフとして閲覧できる。



・ヒートマップ画面

指定した期間のエリア毎の占有率をヒートマップ図として閲覧できる。



コスト

コストについては、以下の通り。

建柱など、イニシャルの費用が高額であるため、観光庁事業など、国の補助事業等の活用が有効である。

初期費用：

- ・システム構築費用：220万円（税込）
- ・カメラおよびAIボックス：132万円/台（税込）
- ・建柱代金：50万円/本

ランニングコスト：

- ・カメラ1台当たり7.7万円~/月（税込）

今後について

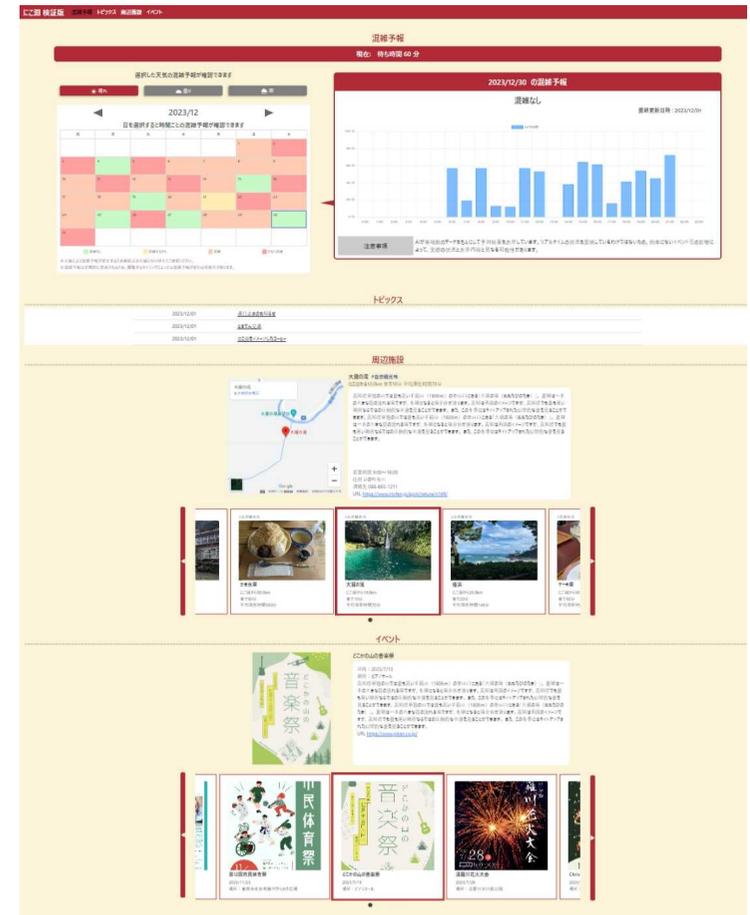
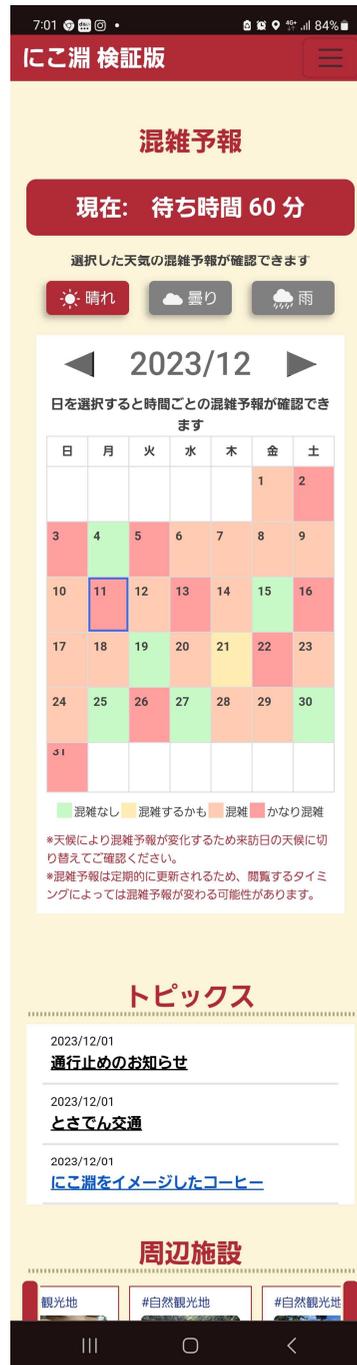
今後、本システムに蓄積したデータを活用し、さらなる渋滞解消の取り組みを実施予定。

(令和6年度実施予定)

実施内容：

車両台数の増減より、駐車場の混雑情報をAIで予測。

観光客に配信することで、来訪時間を変更するといった行動変容を促すことで、時間当たりの車両の流入台数をコントロールする。



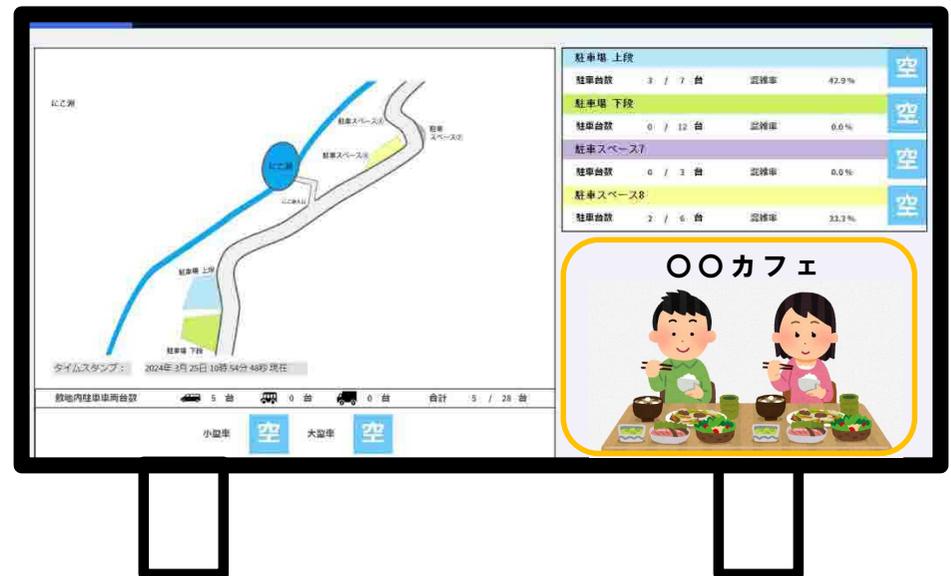
今後について

実施内容：

国の「オーバーツーリズムの未然防止・抑制による持続可能な観光推進事業」を活用し、駐車スペースより手前に大型ビジョンを設置し、満空情報を表示することで空いているスペースに誘導し渋滞を緩和するとともに、地域の飲食店や観光情報もあわせて提供し、地域内の周遊と分散を図る。

更に、四国運輸局が実施する協力金（入域料）のキャッシュレス化事業とも連携し、地域経済の活性化を図る。

様々なデジタル技術の活用により、それぞれで得られる情報を分析、組み合わせることにより、一つの課題解決のみにとどまらず、複合的な効果が期待できる。



LEDビジョン

キャッシュレス化

